

週間漁海況情報 2025年第28号

令和7年7月15日発行

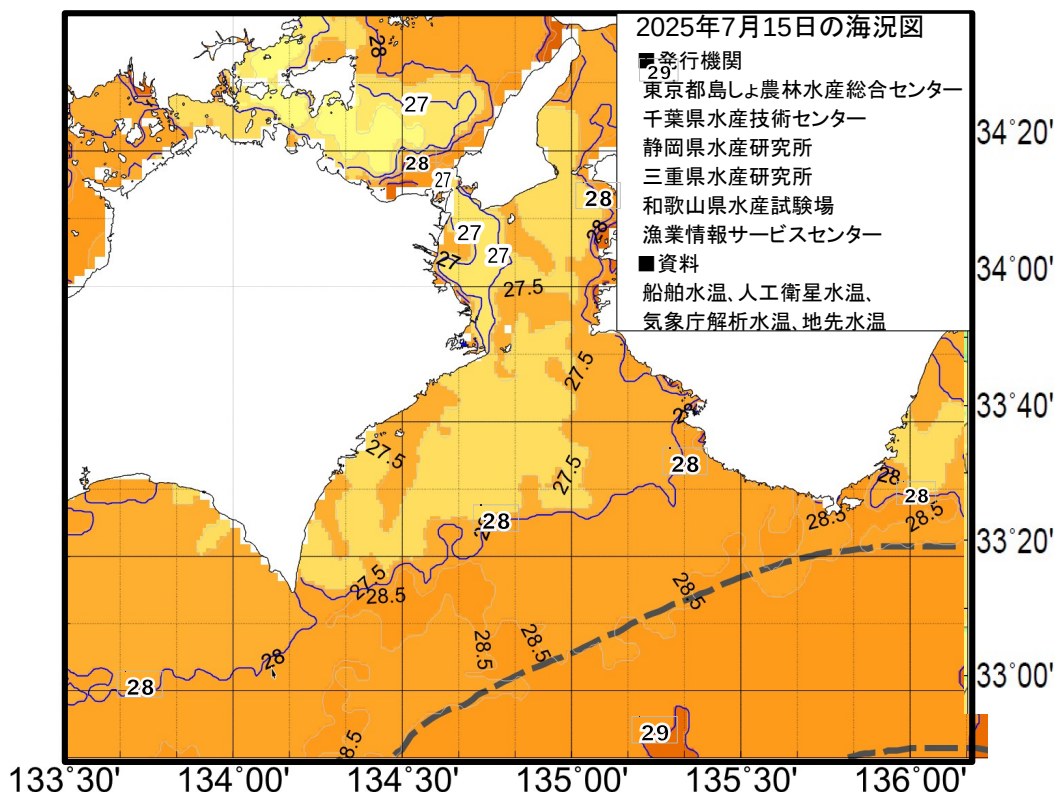
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖50マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で26～28、紀伊水道で26～27、海部沿岸で27℃台となっている。



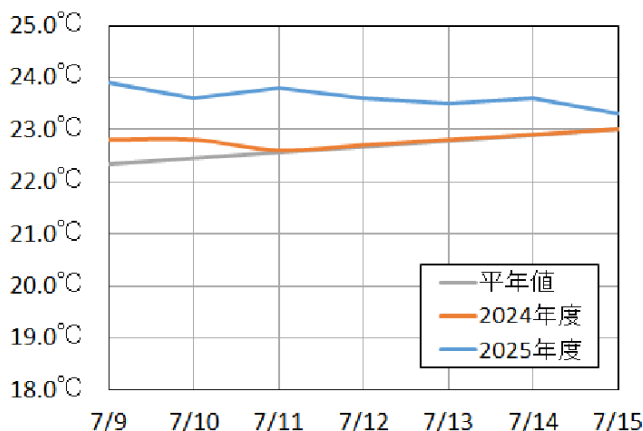
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

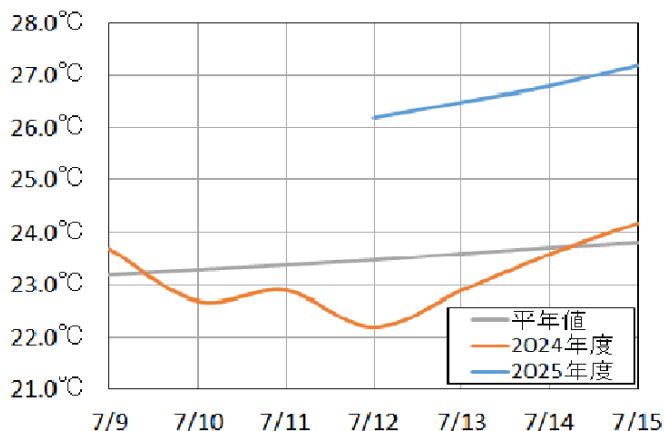
2. 地先水温(7月9日～7月15日)

鳴門地区の水温は、23.9～23.3℃で「高め」から「平年並み」、浅川地区は、26.2～27.2℃で「かなり高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、2.6～3.9℃だった。

鳴門地区



浅川地区(7/9～11は水温計故障のため欠測)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月16日～7月22日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (7月7日～7月13日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが5.7ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.4ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に7.8ト、あまだい類が0.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて中主体に6.9ト、えそ類が増えて1.6ト、

イボダイが大きく増えて大主体に0.2ト、マダイが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが増えて2.3ト、マアジが特大主体に0.8ト、アイゴが増えて0.4ト、

カンパチが増えて大主体に0.3ト、カワハギが大主体に0.3ト、マダイが増えて0.3ト、

ブリが大きく減って0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

大型定置網では、マアジが大きく増えて小主体に1.6ト、マルソウダが減って0.4ト、

イサキが大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	70	シラス	5,670	81		→
	釣り	16	イサキ	441	28	大主体	↘
	延縄	91	ハモ	7,758	85	中主体	→
		55	あまだい類	512	9		→
	底びき網	38	ハモ	6,884	181	中主体	↗↗
		38	えそ類	1,595	42		↗
		34	イボダイ	208	6	大主体	↗↗
		26	マダイ	208	8		→
	小型定置網	33	イサキ	2,255	68		↗
		32	マアジ	823	26	特大主体	→
		23	アイゴ	415	18		↗
		18	カンパチ	344	19	大主体	↗
		33	カワハギ	333	10	大主体	→
		29	マダイ	320	11		↗
		11	ブリ	298	27		↘↘
海部沿岸	大型定置網	6	マアジ	1,623	271	小主体	↗↗
		6	マルソウダ	366	61		↘
		6	イサキ	237	39		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘